

整体トーク（施術版）－FA3・アクチベータ・ブロック

【目次】

[項目]	[ページ]
【初診のトークと流れ】	
・挨拶と整体前の姿勢撮影 -----	3
・問診開始	
・実施する整体の説明 -----	4
・動作検査開始 -----	5
・骨盤ケア画面で施術目的のチェック	
・動作検査直後	
・神経緊張チェック前 -----	6
・ベッドに寝てから	
・神経チェック後 -----	7
・FA3（1回目）開始	
・FA3（1回目）中の参考トーク -----	8
・FA3（1回目）後の BeforeAfter 前	
・FA3（1回目）後の BeforeAfter 後 -----	9
・FA3（1回目）仕上開始	
・FA3（1回目）仕上中	
・アクチベータ前 -----	10
・FA3（仕上）後の BeforeAfter	
・FA3（仕上）後の BeforeAfter 確認後	
・ブロック実施 -----	11
・姿勢評価	
・改善していくプロセス -----	12
・整体後の注意（自宅管理）	
・次回予約	13
【2回目以降のトーク】	
・問診 -----	14
・検証動作の確認	
・体幹捻転チェック	

【3回目整体を終了した時のトーク】	
・一旦終了して様子を見られる方へのトーク -----	15
・健康管理で定期的に受けたい方へのトーク	
【経験したことのない症例に対する予後の説明トーク】	16

【初診のトークと流れ】

■ 挨拶と整体前の姿勢撮影

こんにちは〇〇です。よろしくお願いいたします。
本日症状の根本原因を見つけるために、姿勢も分析させていただきますので、整体の前に姿勢画像を撮影させてください。ではこちらへどうぞ

〈ポイント〉

初めて来院される患者さんは不安な心を持っておられるので、
「患者さん自身のために必要である」という理由（説明）を添えてください。

■ 問診開始

では詳しくお体の状況をお伺いさせてください。
当院の整体は、ご自身の自然治癒力を高められますので、一見関係なさそうな症状にも良い影響が得られることがありますので、最近の体の変化を詳しく教えてください。

〈ポイント〉

問診が一番重要です。

①症状に対しては、どこがどんなときに、どんなふうに。さらに日常生活で実際に支障をきたしている動作など詳しく聞いてください。2回目以降に整体効果を実感していただけるポイントになるので、詳しくヒアリングしてください。

②加えて将来の不安や症状改善後の理想の状態も聞いておきましょう。
整体と整体後の日常生活改善のモチベーションになります。

③他の医療機関で説明されている内容（経過・予後）を必ず聞いておきましょう。
「もう治らない」と説明されて諦めておられたり、失意の状態であると治癒力がなかなか働きません。

完治の難しい症状であっても、整体によって今より改善が見られたり、それ以上悪くなることを止めることができます。

特に自律神経の影響を受けていると思われる体の変化には、効果が表れやすいので、
症状以外にも気になる体の変化を聞き取ってください。

詳細に聞き取った内容は、完治されるまでの間に、全体の効果を実感していただける内容になります。

■実施する整体の説明

本日受けていただく整体について説明させていただきます。

主な目的や効果としては、2つあります。

1つ目は「神経機能の回復」です。体の状態が悪いということは、神経機能が正常に働いていないということなのです。そこで、独自の方法で神経機能が正しく本来の働きに回復させます。

2つめは、「体の使いクセ」を整えます。

身体が良くなることを妨げている原因として「偏った使いクセ」が必ず影響しています。

「使いクセ」とは環境と体の使い方によってお一人お一人に存在している傾向であり動きのクセがあります。

偏ったクセは、筋肉や関節のバランスを崩してしまい、身体重心を不安定にさせたり、
血行を悪くしたりと、体の正常な働きを阻害しています。

「使いクセ」は体型や利き手・利き足によっても独自に存在しているもので、偏りがどうしても現れてくるもので、なくなることはありません。

最終的にご自身の体に合った良い使いクセに整えて管理する必要があります。

〈ポイント〉

何をされるのか。を説明して安心して受けていただきましょう。

殆どの場合「使いクセ」が原因であると説明を受けておられないので、**他との違い**として説明しておきましょう。また、過去に説明された原因と異なることで、改善への希望を持っていただきやすくなります。

無料チェックとして来院された場合以外は、このタイミングで「小指チェック」などを実施して、体の不思議と全身調整の必要性を説明するのも有効です。

■ 動作検査開始

では、しっかりと体のクセを分析して、改善方法を特定するために動きの検査を受けていただきます。

いくつかの動きを検査していきますが、画面を見ながら誘導していきます。

痛みや動きにくさを探していますが、なければ**動きやすい方**を探していきます。

ゆっくりと動かして、最後に1秒ほど止めたときの感じを教えてください。

<ポイント>

誘導するときは、説明と同時に誘導するのではなくて、次の所作を説明してから誘導しましょう。術者も一緒に動作して見せてあげるとわかりやすくなります。

■ 骨盤ケア画面で施術目的のチェック

今検査・分析を終えて、ご自身でできる骨盤の調整（ケア）画面です。

実際に行ってみて、結果を体で確認しましょう。

この画面は整体後に視聴していただくことができます。ご自宅で朝晩していただくと良い状態が定着していきます。

視聴方法は後から説明しますね。

<ポイント>

評価しにくいときは、**クルリンパが評価しやすい場合があります。**

■ 動作検査直後

今までこんな検査を受けたことがありましたか？

レントゲン検査やMRI検査は静止した状態の画像検査ですが、使いクセはそもそも普段の動かし方の蓄積になるので、このように「動き」を丁寧に検査することで、使いクセの状態がわかるのですよ。

また、**今動かしにくい方向があったことが重要なのです。**

本来は、左右や前後の動かし感覚は釣り合っていることが良いのですが、差があることが使いクセの良くない状態を現わしているのです。

整体によって釣り合いを整えますので、しにくかった方向を覚えておいてくださいね。

釣り合いが取れるということは、重心が安定して、筋肉や関節がバランス良く働き出すということなのです。

〈ポイント〉

整体の最終目的は症状の消失ですが、その前提（条件）として体の治癒力を働きやすくすることです。隠れた原因である使いクセをまず整える。検証動作を改善させる（釣合わせる）ができれば、治癒力は働きやすくなり、良くなっていく条件が整うということを説明しておきましょう。

イーファスを始めて受けられる方は、他では絶対に受けたことがない動作検査です。

「こんな検査を受けたことがありますか?」という問いかけは、独自の整体の印象付けにもなります。

また、整体の目的を説明しておくことは、整体のゴール（完了）を明確にしておくことになります。

■ 神経緊張チェック前

では、ベッドに上向きで横になってください。

まず神経機能がどれくらい緊張していて働きにくくなっているのかをチェックしてみましょう。

↓

〈ベッドに寝てから〉

症状がある場合、神経機能が正常に働いていないことが多いのです。

身体は不調になってくると、神経を高ぶらせて防御状態（バリア）になっています。身体を護るという点でそうした状態になっているのですが、同時に神経が興奮気味になり、元々の治癒力が半減していたり、外部からの施術効果を半減させてしまったり、ご自身が体のために良いことをしても、上手く効果しない状況になっています。一般的な治療では、まずこの部分を見逃していることが多いのですよ。

では、頭のとっぺんから足先まで完全に力を抜いてみてください。

↓
大体力が抜けましたか？
↓
では過度な緊張を緩和してみます。
↓
では、ゆっくりとした呼吸をしてください。
できれば吸う息よりも吐く息を少し長めにしてください。
楽なペースで穏やかな呼吸をお願いします。
↓

〈ポイント〉

まずは自然な呼吸で力を抜いてもらい。

チェックするときから穏やかな呼吸を誘導しましょう。

仰臥位で膝を立てた左右倒しで左右差があるときは、「体幹のねじれを整体する」という方法でも良いと思います。

■ 神経緊張チェック後

今「ふわっ」とした感じが緊張緩和した感覚です。

身体の状態が悪いときは、常に緊張していて、正常な状態に戻れなくなっているのです。

良くなれなかった原因なのですよ。

〈ポイント〉

神経の過度な緊張は症状が良くならなかった根本原因の一つであると説明してください。

■ FA3 (1回目) 開始

では、神経機能を正常に働く状態に回復整体を行っていきます。

ゆっくりと穏やかな呼吸をしておいてください。

私が体に触れていきますが、反応しないように力を抜いておいてください。

神経を興奮させないように、とてもソフトなタッチで調整していきます。

もし触られて、嫌な感じがしましたらおっしゃってください。

〈ポイント〉

全体中、ゆっくりとした口調で、穏やかな呼吸誘導を何度も行ってください。

患者さんができるだけ受け応えしない状態であれば、アドバイスなど説明をされても良いです。

■ FA3 (1回目) 中の参考トーク

一般の方で神経緊張を完全に緩和させられる人は殆どおられません。

特別な訓練をした方で、仙人のような方くらいなんですよ。

本日整体の後、神経機能も正常に働くようになり、体は好転していきますが、今していただいている穏やかな呼吸は意識して続けてください。

穏やかな呼吸を無意識にするコツは、穏やかな気持ちで生活することです。

いつもより、**[優しい気持ちで人に接し] [優しい言葉]** を心がけることもポイントですよ。

〈ポイント〉

無音になると不安になられる患者さんがおられるので、不安にならないように気配りをしましょう。

■ FA3 (1回目) 後の BeforeAfter 前

では神経機能を正常化しましたので、起き上がってベッドに座ってみてください。

先ほど動作検査でしにくかった動作を確認してみましょう。

今回の整体の目的になりますが、前後や左右のバランスを改善することなのです。

少し動かしやすくなっていると思いますよ。

〈ポイント〉

まず対象筋画面左上の検証動作の水平面と前額面動作の改善具合を確認します。

まず1回目のFA後なので完全に症状が消失していないことも当然あります。

患者さんには少しでも改善していることを確認してもらいましょう。

■ FA3 後 BeforeAfter 確認後

今動きが変化したということは、神経機能が正常化したということなのです。
神経機能の乱れが停滞する症状の原因であったということです。
今後神経機能の正常化によって、この後治療力がしっかりと働いて快方に向かっていきます。

〈ポイント〉 神経機能回復が原因であったということを理解してもらいましょう。

■ FA3 (仕上) 開始

では、関節の調整も含めて仕上げていきますので、またベッドに横になってください。

〈ポイント〉 穏やかな呼吸を促しながら、仕上げていきます。

■ FA3 (仕上) 中

ここでは、整体の内容やカラダに参考になるお話をしてあげてもいいです。
整体後にお話ししてあげても構いません。

〈動作検査の意味〉

どうしても症状のある部位に意識は行きますが、実は症状を作り出している隠れた原因として使いクセが影響しています。使いクセによって正常に機能できなくなっている筋肉や関節を見つけることが重要になっています。

使いクセは、普段の動きによって作られ、動きに現れているので、こうした丁寧な動作検査が重要になっているのです。

受けていただいた動作検査の結果を、AIシステムによって194万通りもあるアンバランスなパターンからあなたの使いクセを分析して、最適な矯正方向を導き出しているのですよ。

普段の動きや姿勢には、全身で350以上の筋肉や200以上の関節がかかわっていて、それらのバランス（協調性）が大切なのです。

※因みに動き・姿勢に関係しない筋肉まで含めると600くらいあります。

〈ポイント〉

良くなった後にしたいこと（シュミ・スポーツ・旅行 etc）など聞いてあげて、
プラスな気持ちを作るようにしましょう。心の方向性＝体の方向性

■ アクチベータ前

AI が特定したポイントに刺激を入れていきます。
バチンと音がありますが、痛くないので安心してください。
こうした刺激によって反応する体の反射を利用した整体です。

〈ポイント〉

アクチベータを他の医療機関で経験したことがある方がおられましたら、次のように説明してください。

「同じ器具を使って治療されていることもありますが、当院では動作検査の上でお体に合ったポイント进行分析して、検査結果に基づいて行う点がこだわりなのです。」

■ FA3（仕上）後 BeforeAfter

では本日の整体を完了しましたので、起き上がってベッドに座ってみてください。
先ほど動作検査でしにくかった動作を確認してみましょう。
しやすくなっていると思いますよ。

↓

検証動作（水平面・前額面）をチェック

↓

しにくい方が逆転していることもありますが問題ありません。
アンバランスを戻している状態なので問題ないことを伝えてあげてください。

↓

主訴の動きがあれば改善をチェックしてください。

↓

■ FA3（仕上）後 BeforeAfter 確認後

整体前に比べて治療力が正常に働く状態になっています。
この後、様々な回復過程が始まっていきますので安心してください。

↓

■ 整体後の姿勢撮影

↓

■ ブロック実施

ではまた、ベッドに寝ていただきます。

約1分間ですが、こうしたブロックを使って良い状態を体のクセ付けます。

穏やかな呼吸でリラックスして寝てください。

■ 姿勢評価

やはり姿勢にも乱れが出ていました。

でも良く改善されていますので、確認してみましょう。

整体前のこうした不良姿勢では、重心が●●な傾向があるので、特に●●や●●に負担がかかっていたようです。不良姿勢は知らず知らずに現れてきますが、症状が現れやすく、治りにくい原因になっています。

今綺麗に姿勢を整えたことで、体は無理な負担から開放されます。

自然治癒力も強く働き、快方に向かっていきますので安心してください。

後、この良いバランスや姿勢を定着するようにしていけば、良くなっていきますよ。

<ポイント>

合成比較で確認する悪い姿勢部分が、症状の原因（どのような体への負担）になっていたかを説明してあげてください。

さらに、悪い姿勢は放置してもなかなか改善されないこと。

また、年々悪くなる可能性があることを説明して、健康維持管理に重要なことを伝えてください。

そして、姿勢の変化は時間がかかっていることを説明し、戻りが生じやすいので、定着させるように生活することが大切なことも教えてあげましょう。

透過スライダーの動かすスピードを工夫すると違いが見えやすくなります。

身体が軽くなったことを体感していただいて、喜びを共有してください。

■改善していくプロセス

整体によって、神経機能が正常に働き、身体重心の安定とバランス（協調性）の改善によって、血行が良くなり、治癒力による回復プロセスが始まります。

生活環境や使い方や体力、症状が現れてからの期間等によって個人差はありますが、快方に向かっていきます。

体が回復していく過程で、体の中で様々な変化が起きるので、少し重だるいとか、しばらく使っていなかった動きがはじまり、疲れを感じる場合がありますが、数日で取まります。

今のこの良い状態を続ければ、良くなるわけがないのです。

一般的には・・・大体●●な期間で改善します。

<ポイント>

改善する目安を示してあげましょう。

整体後の良い状態を定着させることがポイントです。

	改善を体感	完治目安
器質的な問題なし	1～2週	2～3ヶ月
器質的な問題あり	1ヶ月	3～6ヶ月

※O脚など変形性関節症の姿勢変化は6ヶ月～1年くらいはかかります。

※完治するまでも、問診でヒアリングした詳細内容によって改善傾向を確認してもらいましょう。

■整体後の注意（自宅管理）

次に整体後の生活アドバイスですが、快方に向かわせるのは、ご自身の治癒力なので、働きやすいように次のことに注意してください。

穏やかな呼吸と穏やかな気持ちを続けるように注意してください。

朝晩の骨盤ケアも行ってください。

また睡眠や入浴も大切なので、帰ってから見ていただけるセルフケアの画面の中でも詳しくアドバイスしていますので見てくださいね。

<ポイント>

セルフケア配信画面の説明を簡単におきましょう。➡（機能紹介画面）

※その他問診で気づいたことがあればアドバイスしてあげてください。

■ 次回予約

治療間隔目安

症状	経過	2回目	3回目
症状が強い	停滞・不良	3.4日後	2回目より1週間後
	良好	3.4日後	2回目より2週間後
一般的	停滞・不良	1週間後	2回目より1週間後
	良好	1週間後	2回目より2週間後

3回目時点で改善傾向を確認し、経過にあわせて計画を立てる

※初診時の問診を詳細に効くことが大変重要になってきます。

完治には個人差がありますが、体の変化を途中に実感していただいて
しっかり最後まで見守りましょう。

※症状の強い間は1/週 ⇒ 改善に合わせて1/2週 ⇒ 1/月と空けていきましょう。

【2回目以降のトーク】

■ 問診

前回の後、本日までいかがでしたか？
症状に変化はあらわれてきましたか？

<ポイント>

初診時に聞いた内容から改善している部分を確認する。
自宅管理の状況を確認する。

セルフケアをしておられたら、全く変わらないということはないと思いますが、
改善が少ない場合こじれ方が強いのですが、術者は右往左往せず淡々と進めてください。

■ 検証動作の確認

前回動きにくかった動作を確認してみましょう。

<ポイント>

方向が変わっていたら、「動作検査に戻る」から再入力してください。

■ 体幹捻転チェック

立て膝倒しでしにくい方があれば、それを改善してから始めましょう。

まず体幹部の捻転からチェックしてみましょう。

↓

FA3 (1回目)

↓

FA3 (1回目) 後 BeforeAfter

↓

FA3 (仕上)

↓

FA3（仕上）後 BeforeAfter

↓

一番つらい局所に FA を行う

※骨盤ケアで良い評価が得られているときは、坐位で骨格調整画面（赤:リバース）の矢印にアクチベータを行っても有効です。

↓

ブロック

↓

次回予約

〈ポイント〉

必要なら初診時の説明を繰り返し説明します。

【3回目整体を終了した時のトーク】

症状改善していれば、そのまま様子を見られる（終了）こともありますし、健康管理で定期的な来院を希望される場合もあります。

■ 一旦終了して様子を見られる方へのトーク

今回の整体をきっかけに、日々の健康管理を頑張られてください。
症状がでてきたときや、例えば夜寝るときに神経の緊張がなかなか抜けなくなってきて、なかなか寝つきが悪くなってきたり、起床時に疲れが取れなくなってきたりしたときは、神経が緊張しているサインなので、早めにリセットしにお越しくください。

■ 健康管理で定期的を受けたい方へのトーク

一般的な整体の効果は3週間ほど続くと言われていいますので、3週間から1ヶ月を目安に継続される方が多いです。

【経験したことのない症例に対する予後の説明トーク】

受けていただく整体は、神経の緊張抑制と全身の筋肉や関節バランスを整える効果があるので、治癒力を高めるという点において必ず効果があります。継続することで整体前よりも体は良くなりますが、予後が予測しにくいときは以下のように説明してください。

整体前後に改善傾向が認められる場合は次のように説明してください。

整体の前後でカラダの変化を体感されたと思いますが、治癒力や回復力は必ず高まるので、

整体前後の変化を体感されるのであれば、ご自身の体にとって受ける価値はあると思います。

個人差はありますが、数回希望をもって受けてみてください。一緒に頑張りましょう。月2回で3ヶ月くらい継続して受けていただくと効果を実感される方が多いです。

〈ポイント〉

器質的な問題や体力的な問題が強い場合は、回復の限界があることを正直に伝えておきましょう。但し、よりこじれていくことを防ぐ効果は十分あります。